

政策評価書(要旨) (事後の事業評価)

事業名	画像表示型地雷探知器	担当部局	経理装備局艦船武器課
政策体系	I－4－(2)－② 研究(開発)	実施時期	平成18年10月～19年3月

事業の内容 陸上自衛隊の部隊が地上機動支援に使用する89式地雷探知器の探知能力の向上を図った改善装備を開発する。	事前評価時(概算要求時)					
	14	15	16	17	18	終了年度
	←	試作	→			18年度
			←---	試験	---	経費総額
						約11億円
実施結果						
	14	15	16	17	18	終了年度
	←	試作	→			18年度
			←---	試験	---	経費総額
						約11億円

評価の内容

事業の目的 現有の89式地雷探知器は、地雷の探知を聴音等により行うため、誤探知が多く、また、その判断の適否は隊員の習熟度等に大きく依存することから、使用に当たっては、十分な訓練が必要となる。この問題点を改善し、軽易な訓練で地雷を迅速・確実に探知できる画像表示型地雷探知器を開発し、部隊の地上機動支援能力の向上を図る。	達成状況 ①達成効果 以下の技術項目の達成により、隊員の習熟等に左右されにくくなり、より確実な地雷探知が可能となる画像表示型地雷探知器を開発した。 ア 携帯型地雷探知器に適合した地雷識別技術 (ア) 信号処理技術 (イ) 高度な情報処理による識別処理技術 (ウ) 画像処理表示技術 イ 小型軽量化技術
②達成時期 当初の計画どおり、平成18年度に試験を終了した。	③教訓等事項 探知情報の画像化により、作業効率を向上出来た。また、誤探知防止など探知能力の向上にも関わらず、構成部品に民生品を採用することで、計画的な調達を可能とする価格に抑えることが出来た。

今後の対応 今後、施設科部隊等への整備を進める予定である。	その他参考情報 平成13年度 事前評価「画像表示型地雷探知器」
----------------------------------	------------------------------------